

# おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2017  
(平成29年)

2

No.188



◆第4回定例会	2ページ	◆陳情／請願／意見書	13ページ
◆決算特別委員会	4ページ	◆先進地事例調査研究報告	14ページ
◆一般質問	9ページ	◆3月議会日程	15ページ
◆審議結果表	12ページ	◆スマイルインタビュー ・あとかぎ	16ページ
◆議会日誌	12ページ		

小方ヶ丘より

# 第4回 定例会

## 総務文教委員会

### 主な審査内容

●大竹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

Q 職員が介護休暇等で休みを取得する場合、期末勤勉手当や人事評価にも影響が出るのか問う。

A 直ちにマイナス評価となるような影響は出ないが、長期間勤務しないなど一定の要件を満たすと減額の可能性はある。

Q 有給休暇の取得状況はどうなっているか問う。

A 平成27年度は平均して約11日取得している。振替休暇のほうを取得しやすく、そちらを優先して使用することもあり、取得が少なくなっている。



●平成28年度大竹市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ1億3,961万6千円を追加するもの

○主な内容

・ふるさと納税寄付金

1,500万円

【歳入】

・防火水槽設置工事

580万円

・鳥獣被害防止対策支援事業

96万円

・老人集会所改修事業補助金(阿多田地区 再編交付金)

500万円

Q 阿多田地区の防災コミュニティグラウンドについて、入札申込みが無く成立しなかったということだが、来年以降の取り組みについて問う。

A この事業については、来年度改めて整備を考慮しており、新年度予算案に計上する予定である。今年度受注者がいなかった理由を精査し、整備費用の見直し等に取り組んでいる。

Q 鳥獣による被害について大竹市内の実態を把握しているのか、また鳥獣被害対策についてどのように考えているのか問う。

A 今年度の被害についてはまだ把握できていない。最近はやノシシが家庭菜園を狙って畑を荒らすケースが増えており、各地域に出向いて地元説明会を開催している。これらも被害の多い地域に出向いて被害防止の対策を説明していきたいと考えている。

Q ふるさと納税の現在の寄付状況、また目標について問う。

A 寄付者件数667件、寄付金額1,540万円というのが11月末現在の状況である。目標については2,500万円に設定し、今回当初予算から1,500万円を補正した。

Q ふるさと納税の寄付者のうち、市内の方がどのくらいいるのか、また、市内の方の場合、税金の控除額、返礼品にかかる経費との兼ね合いから赤字にならないのか問う。

A 市内の方のふるさと納税の件数は28件である。市内の方からしていただいた場合でも、市民税が減額された分の75%が地方交付税によって補てんされるため、入りのほうが大きくなる。



ふるさと納税返礼品の一例



●その他の議案 6件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第4回定例会は、平成28年12月1日～12月14日の14日間行われました。  
 詳細については、平成29年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、  
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

## 生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市道路占用料徴収条例の一部改正について

**解説**  
 道路法施行令の一部改正により、市が管理する道路及びその付属物の占用を許可した時の占用料を改正するもの。

**Q** この度の改正で、占用料収入はどの程度の減額を見込んでいるのか問う。

**A** 来年度の歳入において、道路占用料は前年度比約29%減の約260万円減額、水路占用料は前年度比約23%減の約160万円減額となり、合計約420万円程度の減額を見込んでいる。

**Q** 改正後の占用料について、国及び県の基準と異なる額を独自に設定しているものがあるのか問う。

**A** 今回の改正は、全て国・県の基準をそのまま適用したものである。

●市道路線の認定について

**解説**  
 県道栗谷大野線(谷尻バイパス)の道路改良事業の供用開始に伴う旧道部分の県道が市に移管されるため、市道路線の認定をするもの。

**Q** 当該路線は本市部分と廿日市市部分に分かれている。仮に廿日市市部分で、維持管理の対応に費用が発生する場合、その費用を廿日市市に求めることができる取り決めとなっているのか問う。

**A** 本市及び廿日市市が、お互いの市域外の部分で簡易な維持工事など緊急対応が発生した場合は、後日、費用のことを協議することとしている。



県道栗谷大野線(谷尻バイパス)

●平成28年度大竹市工業用水道事業会計補正予算(第1号)

**解説**  
 収益的支出を530万円追加補正するもの。(経済活動によって発生する支出)

**Q** 弥栄ダムの水位計の修繕等に伴う負担金の増額による、補正予算計上ということだが、当初予定していない不測の修繕が必要になったものであるのか問う。

**A** 当該水位計についてはダムの堰堤に取り付けてある板形状のものであり、老朽化等もあり目視による確認が困難な状態となった。当初の事業予定になかったため、補正予算を計上するものである。

**Q** ダムの水量は、水位計の目視により確認できる状態でなければならぬのか問う。

**A** 通常時は遠隔監視装置により管理されている。今回修繕する水位計は停電等非常時の水位計であり、監視装置に不具合が生じた場合、当該水位計による目視確認が必要となる。

●平成28年度大竹市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

**解説**  
 資本的支出を840万円追加補正するもの。(施設の建設改良などに関する投資的な支出)

**Q** 住宅新築などによる取付管工事の増加に伴う補正予算計上とのことだが、当初の見込み、またそれに対してどの程度増加する見込みであるか問う。

**A** 今年度は11月末現在で24件の申請があった。今後の見込みとして民間の事業者から相談があったものを集計しており、現時点でさらに20件程度と見込んでいる。なお、例年としては平成27年度及び平成26年度はともに27件の実績であり、今年度はそれより多い見込みとなる。

●その他の議案 2件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



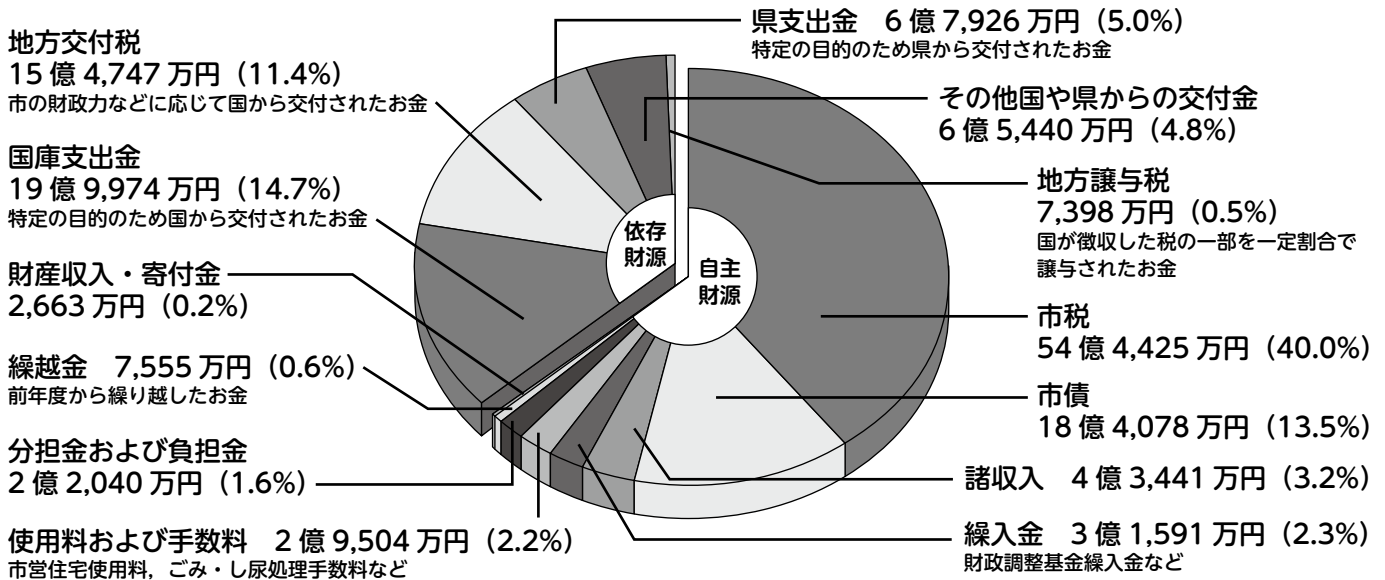
本会議での採決の結果

原案のとおり可決

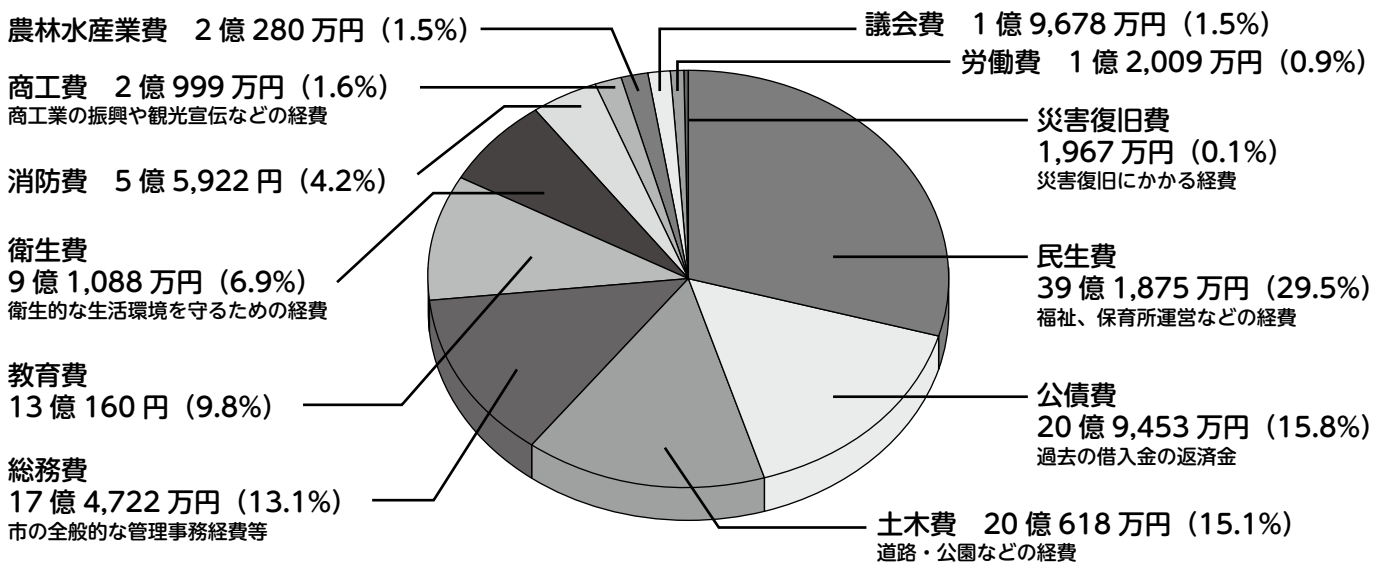
# 平成 27 年度決算を審査

9月定例会において提案された、平成27年度各会計決算は、3日間（10月4、5、6日）にわたり決算特別委員会において審査され、12月14日本会議で全会計とも認定されました。

## 一般会計 歳入総額 136億782万円



## 一般会計 歳出総額 132億8,771万円



### 一般会計の概要

平成27年度に一般会計に入ってきたお金（歳入）と、そこから使ったお金（歳出）の差し引きは、3億2,011万円になりました。

そこから平成28年度に繰り越した財源（平成27年度に実施予定事業の一部を平成28年度に行うことにしたため）1,011万円を差し引いた3億1,000万円が平成27年度に実際に残ったお金です。

このうち、2億円を財政調整基金（※）に積み立てました。

※年度間の財源の不均等を調整するための貯蓄

# 平成27年度 会計別決算額

		歳 入	歳 出	差 引
一般会計		136億 782万円	132億8,771万円	3億2,011万円
特別会計	国民健康保険	43億5,018万円	43億4,712万円	306万円
	漁業集落排水	2,840万円	2,840万円	0円
	農業集落排水	4,238万円	4,238万円	0円
	港湾及び漁港施設管理受託	7,897万円	5,005万円	2,892万円
	土地造成	6億4,091万円	12億6,228万円	△6億2,137万円
	介護保険	24億9,145万円	24億1,264万円	7,881万円
	後期高齢者医療	4億831万円	4億685万円	146万円
	合 計	80億4,061万円	85億4,972万円	△5億 911万円
総合計		216億4,843万円	218億3,744万円	△1億8,901万円

※ 端数処理をしています

## 決算特別委員会での質疑

### 一般会計

● 議会の情報公開の状況について

Q 市議会の情報公開状況を問う。

A 議会事務局ではホームページのリニューアルなど積極的に取り組んでいる。政務活動費の収支報告書公開については、議会で公開となれば、議会事務局として準備をしていきたい。

● 生活困窮者自立支援事業について

Q 生活困窮者自立支援事業について、人件費として1,700万円程度の予算を使って就労者は3名であるが費用対効果について問う。

A 実際の相談人数は約60名であり、金銭的な支援だけでは解決しない方も多く効果はあったと感じている。

● 保育所の耐震補強について

Q なかほま保育所の完成時期が昭和48年など、保育所の多くは建築基準法改正前の建築である。耐震補強はされているのか問う。

A 耐震診断の結果、地震の振動及び衝撃に対して、倒壊、崩壊する危険性は低かったが、外壁の中性化（劣化）が進んでいるという指摘があったため補修している。



なかほま保育所

### ●市の雨水排水計画について

Q 大雨が降るたびに立戸地区など特定の地域の方が浸水被害を受けている。早期に取り組みが必要があると思うが考えを問う。

A 大竹をよい安全なまちにしていくために、雨水計画の検討に入っている。長い時間と大きな費用を要するが、大竹地区や立戸地区など毎年のように被害を受ける地域の水路改修等、課題となっている水路の氾濫について検討を重ね対策を進めていきたい。



平成26年8月6日  
本町一丁目交差点付近

### ●農業委員会法の改正点について

Q 農業委員会法改正で委員の選任方法が変更された点について問う。

A 平成28年4月の改正点は、①市長の任命制、②認定農業者を入れる、③利害関係のない人を1名以上入れる、④女性・青年をなるべく採用する、の4点である。現在の農業委員の任期は平成29年7月19日までであり、それ以降については新体制での農業委員会となる。

### ●ごみの広域処理事業について

Q ごみの広域処理事業は平成31年4月からの稼働が予定されているがその進捗状況と、併せて燃やすごみの有料化の成果について問う。

A 広域処理事業は、新たな処理施設運営を公設民営で行う。廿日市市が実施の総合評価一般競争入札の結果業者が決定した。平成29年2月から施設の建設に着工予定で平成31年の稼働に合うと考えている。

また、平成25年度にごみ処理手数料導入後、家庭からの燃やすごみについては着実に減少している。

### ●防災行政無線について

Q 防災行政無線について、現時点で聞こえにくいなどの苦情があるのか問う。また、この防災行政無線を市民への情報提供の手段として、もっと利用できないのか問う。

A スピーカーの新規整備により、おおむね聞こえにくい地域は解消された。個々の苦情については随時対応している。苦情の件数は、もあり減っている。

利用方法については、いろんなニュースが流れてきた場合、防災無線への関心が薄れることが考えられるため、命にかかわるような重要なことや災害に関することに限って放送している。

防災行政無線  
テレホンサービス  
0120-590-131  
※通話料無料



大竹市  
PRキャラクター  
コイちゃん

### ●救急デジタル無線について

Q 救急デジタル無線について、

大竹市の負担、約1億1,150万円をかけてアナログをデジタル化し、大竹市、廿日市市、江田島市、広島市など広域で整備することによってより何が良くなったかを問う。

A 音声を一度デジタル信号化していることで、情報の秘匿性が向上している。また、基地局を2局設置したため栗谷地区等でも災害時に無線で通信できるようになり、市内のほぼ全域で通話ができるようになった。大規模災害等には迅速に連携できるようになったと思われる。

### ●地方債残高について

Q 財政推計における財政指標等の見込みについて、地方債現在高が平成29年、30年と増えているが、内容を問う。

A 財政推計における地方債残高には、廿日市市とのごみの広域化負担分の起債、大竹駅の橋上化も見込んでいるが、小方のまちづくり構想については未定であり見込んでいない。

●放課後児童クラブの受け入れについて

Q 放課後児童クラブの利用を希望する場合、100%受け入れが可能な状況か問う。

A 大竹小学校は全て受け入れられている。小方小学校では低学年は、全て受け入れているが、高学年は、特別な配慮が必要な児童を受け入れることとしている。なお、玖波小学校は、建替えが終了するまでは面積の関係で低学年のみ受け入れられている。



みどり児童クラブ

## 特別会計

国民健康保険特別会計

介護保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

港湾施設管理受託特別会計

土地造成特別会計

●データヘルス策定事業について

Q データヘルス計画策定事業(※)が策定された。市民の皆さんが読みやすいように工夫して周知してもらいたいと思うが、これからの周知方法について考えを問う。

A 市のホームページに掲載しており、ダウンロードができるようにしてある。55ページあり、専門用語も用いられているため、誰もがわかりやすい概要版などの作成を検討していきたい。

(※)国民健康保険被保険者の医療費データと特定健康診査の受診データを突合・分析し、市の国民健康保険が実施する保険事業の見

直しをする事業

●玖波地区地域包括支援センターについて

Q 平成27年度に開設した玖波地区の地域包括支援センターについて、事業をどのように評価しているか。

A また、認知症カフェなど、事業を拡大していつてもらいたいと思っているが、県に事業費をつけてもらえるのか問う。

A 玖波地区の地域包括支援センターはメープルヒル病院内に設置している。ここでは平成22年度から認知症疾患医療センターが設置され、平成26年度に初期集中支援チームと地域支援推進員を、平成27年度に地域包括支援センターを設置して、全国に先駆けて合併型センターとなった。県と市が一緒に進めてきた事業である。認知症の包括的支援が行えることから成果も出ていると感じている。

また、認知症カフェについて9月29日に初回が行われ毎月1回のペースでの開催と伺っている。

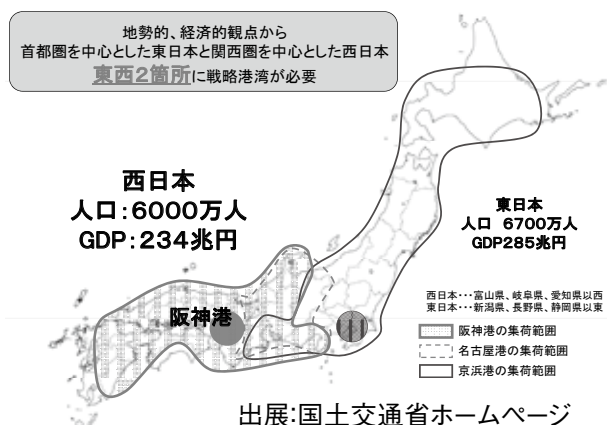
現在の事業費を維持し、こうした事業を拡大していつてもらえ

ばと考えている。

●大竹港の荷動きの状況について

Q 現在の大竹港の荷動きの状況について問う。

A 今は外国船の航路も復活し順調に伸びている状況である。今後は、国の施策により、瀬戸内海に阪神港、東京には京浜港という会社をつくり、巨大な船が一つの港に集まって、そこから各地方港レベルに分配していくというような動向である。



## 委員会での討論

### 一般会計

#### 【反対討論】

○「御園6号棟の建設場所の問題や、小方公民館の廃止においては、説明責任が果たされていないことなどもあり、認定できるものではない」

#### 【賛成討論】

○「一般会計について、賛成の立場で討論する。詳しくは本会議場で行いたいと思う」

### 特別会計

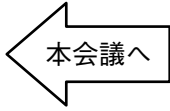
#### 土地造成特別会計

#### 【反対討論】

○「市民負担がこれから起こってくるのではないかと危惧をする」

特別委員会で採決の結果

全会計とも認定



## 本会議での討論

### 【反対討論】

○「大願寺土地の売却について、下水道の受益者負担金の根拠が説明されていない。また、募集の仕方に違和感があるため、これらのことに関連する一般会計と土地特会は反対」

○「一般会計はおおむね賛成であるが、選挙管理委員会の裁判で関係者に多大な迷惑をかけたので反対。土地特会は裁判のとおり違法な価格で大願寺土地を売却したため反対」

### 【賛成討論】

○「厳しい財政状況のもと、総合計画を推進し、よいまち大竹が実感できる施策であったと思う。また、全会計の借入金も減少していることを評価して全会計に賛成」

○「決算委員会では、委員からの質問に対し適切な答弁が即座にあり信頼できると判断した。加えてひつ迫の状況下において、努力の成果が読み取れるためすべての会計に賛成」

本会議で採決の結果

全会計とも認定

## 決算特別委員

委員長  
副委員長  
委員

寺田 大和 北末 藤井 岡井 公  
山崎 井田 地広 井岡 公  
大和 芳範 和  
田中 年 芳弘 久基 馨章  
実穂 一 涉



## 「市政のあらまし(平成28年度版)」を販売しています。1冊1,000円

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。

議会事務局で販売しています。

大竹市情報公開コーナー、図書館等でも閲覧できます。



原田 博議員が、平成28年10月20日付けで議員辞職をしたことに伴う議会人事は次のとおりです。

- 総務文教委員長 山崎 年一
- 総務文教副委員長 網谷 芳孝
- 議会運営委員 和田 芳弘
- 宮島競艇施行組合議会議員 細川 雅子





**山本 孝三**

- 核兵器廃絶・核兵器禁止条約締結について

**日域 究**

- 高齢者が加害者になる「悲惨な交通事故」を防ぐために
  - 下水道受益者負担金とは何ですか。時に金額が変わりま
- すか

**末広 和基**

- 新公会計制度導入に向けての固定資産台帳整備・公共施設等総合管理計画の作成業務、現時点の進捗状況とその活用に向けての考え方を伺います
- 電子自治体への取り組みの現状と今後の方針について伺います

**田中 実穂**

- 食品ロス削減に向けての取り組みは？
- 高齢者の運転免許証の自主返納について
- 地方創生の後押しに「企業版ふるさと納税」の推進を

**賀屋 幸治**

- 温泉掘削によるマロンの里の活性化について



核兵器禁止条約の

締結について



山本 孝三

**問** 国連総会において、核兵器禁止条約の締結を目指す各国間交渉が「決議」されました。

日本政府や米国は反対しました。大竹市も加盟する平和首長会議も、国連決議に沿って、条約締結の実現に向け、ヒロシマ・ナガサキ被爆者の国際署名に賛同、協力することを確認し、安倍首相に「被爆国としての役割を果たすべき」との意見書を提出しました。

こうした市民、国際世論・運動と連帯し、これからの市長の思い、そして取り組みをお聞かせください。

**答** 核兵器は、非人道的で持つことも禁止すべきと考えており、核実験をした国へは抗議文を送付し、核兵器廃絶へ向けて本市の意思を示しています。その他にも、「平和

へのおもい」事業や広報おたけへ啓発記事を掲載するなど核兵器廃絶に向け取り組んでおり、署名運動にも協力しています。

国連総会第一委員会で、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議案が採択されたことは、核兵器廃絶への大きな一歩です。我が国が条約の実現に向け、積極的に関与していくよう、平和首長会議や日本非核宣言自治体協議会の加盟都市と連携し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた活動を展開していきます。





日域 究

ダイヤモンドタクシーの検討を

問 介護保険に関する視察で人口3万人の栃木県高根沢町を訪れました。そこで聞き驚いたのはダイヤモンドタクシーです。ワゴン車で1回100円ドアからドアまで。路線バス形式と違い登録すればどこでも誰でも何時でも使えます。運転免許証返納がし易い環境を作り、高齢者による事故を防ぐためにも導入の検討をしませんか。

答 事業の実施により運行事業者の本来業務が圧迫されれば、公共交通そのものを維持することができません。また、最寄りの施設へのアクセスを確保し、それぞれのまちを守りたいとの思いもあります。将来にわたり持続可能な公共交通にふさわしい仕組みを、住民自らが守り育て、行政もそれを支援しな

がら、皆様と一緒に考えていきます。

大願寺公募売却予定価格算定の謎  
下水道受益者負担金はどうか決まっていますか

問 3億3,777万円だった予定価格の計算根拠は裁判でやっと開示されました。中身を検証すると最も不可解なのが下水道負担金m単価の112円です。上下水道局も313円のはずだと言つこの金額の根拠は。

答 本市の受益者負担金は4つの負担区があり、汚水処理場へ送る中継ポンプ場の事業費等によりm単価が異なります。112円の根拠は、資料が残っていないため確認できません。

高根沢町ダイヤモンドタクシー



下水道分担金  
担当部署からの回答金額 318万0800円  
(単価112円/m<sup>2</sup>×面積4万m<sup>2</sup>×有効面積71%)

大竹市が裁判所に提出した準備書面より



末広 和基

「新公会計制度」導入に向けての固定資産台帳整備・公共施設等総合管理計画の作成業務の活用について

問 ① 固定資産台帳整備と公共施設等管理計画との関連の意図と将来を見据えた場合の具体的な活用方法について伺います  
② 続いて来年度より本格的な複式簿記の取り組みも予定されています。

答 ① 固定資産台帳整備と公共施設等総合管理計画策定は今年度中の完成を目指しています。公共施設等の全体が把握できるようになり、最適な施設配置を長期的な視点で考える際の指標になると考えています。  
② 来年度から導入する新地方

公会計では、仕分け方法として期末一括方式を採用し、貸借対照表の分析等を行います。



平成22年11月 東京都 大阪府発表

電子自治体への取り組みの現状と今後の方針について

問 電子自治体推進計画の策定についての基本的な考えを伺います。ICTの活用を意図する事による人材育成や業務プロセスの見直しなどの可能性について、現状に対する認識と今後いかにあるべきか伺います。

答 情報セキュリティに関する対策や研修を受講し、改善を進めます。今後も限りある人的資源を有効に活用し国の示す方針に従って電子自治体の取組を進めます。



田中 実穂

高齢者の運転免許証  
自主返納について

**問** 多発する高齢者による交通事故。被害者は勿論の事、加害者の家庭をも壊してしまっています。車社会の現代、必需品ともいえる運転免許証ですが、悲惨な事故を起こす前に勇気ある自主返納を勧めるため、バスやタクシーの割引券など何か特典を考えられませんか。

**答** 自主返納促進の支援制度は公平性の観点から慎重に検討しています。なお、道路交通法の改正により誤操作等の事故は減少すると考えます。

食品ロス削減に向けての  
取り組みは？

**問** 食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」。日本では

年間632万トンと推計されています。保育所や学校での食育や環境教育を通して、残さず食べる運動や持ち帰り運動など削減への取り組みを進めるべきと思いますがいかがでしょうか。

**答** 保育所では適量の調理・配膳のほか食事の基本・楽しさを学び食べ残しがないように取り組んでいます。

また、災害用備蓄食糧は期限の迫る物から消費しています。個人備蓄の推奨と民間企業との災害時食糧品の応援協定の締結を進める考えです。

学校給食の調理・献立の工夫、学校での食に関する指導や残菜を肥料に活用する取組などにより、残食率は約2%となっています。



【その他の質問】

○地方創生の後押しに「企業版ふるさと納税」の推進について



賀屋 幸治

温泉掘削による  
マロンの里の活性化について

**問** 過疎化が進む中山間地域では高齢化と後継者不足により農業の弱体化が懸念され、空き家や耕作放棄地への対策が急務となっている。この地域の活性化を目的に平成12年にマロンの里交流館が完成し、年間約8万人もの集客と約4千万円の売り上げで地域に貢献しているが、近年は減少傾向である。特に、冬季や平日の閑散期の集客対策が課題であり、年間を通して安定的な集客と収益を確保する必要がある。そこで、この対策としてマロンの里に温泉を掘削し新たな観光資源の創出により、地域振興と活性化を図ることを提案します。また、当初の全体開発構想に温泉計画等もあったのではないかと思うが、当時の経

緯や顛末と併せて温泉掘削についての見解を伺います。

**答** マロンの里建設にあたり、職員によるプロジェクトチームを設置し、リゾート開発をテーマとして、研究・調査をした経緯があります。報告書には年間を通じて安定的な集客を期待できる施設として温泉施設が上げられていましたが、建設と維持管理に多額の費用が見込まれていました。

このため、利用者の動向を慎重に把握し、柔軟に計画の見直しを行うことや、将来的に多大な財政負担を強い可能性があることに留意し、慎重に検討すべきことが特記されています。

温泉施設は、魅力ある施設だと認識していますが、将来的な経営面への不安感から、検討には至っていません。



閑散期の「マロンの里交流館」

第4回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井渉	網谷芳孝	藤井馨	山崎年一	日域究	細川雅子	寺岡公章	田中実穂	山本孝三	審議結果
認第7号 平成27年度大竹市一般会計決算	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●	認定
認第8号 平成27年度大竹市国民健康保険特別会計決算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第12号 平成27年度大竹市土地造成特別会計決算	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●	認定
認第13号 平成27年度大竹市介護保険特別会計決算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号 平成28年度大竹市一般会計補正予算（第4号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号 市道路線の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第3号 晴海臨海公園整備事業における多目的ゾーン等を整備することを求める陳情	—	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●	採択

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。—：議長 ○：賛成 ●：反対

議会日誌

11月～1月

- 11月 4日 基地周辺対策特別委員会  
総務文教委員会  
生活環境委員政策研究会
- 7日～9日 総務文教委員会先進地事例調査研究
- 15日～17日 生活環境委員会先進地事例調査研究
- 24日 議会運営委員会  
広報広聴特別委員会
- 12月 1日 本会議
- 3日 沖縄県の基地負担軽減を考える議員有志の会 第1回沖縄協議会員
- 5日 総務文教委員会  
総務文教委員政策研究会
- 6日 生活環境委員会  
生活環境委員協議会  
生活環境委員政策研究会
- 7日 基地周辺対策特別委員会  
小方地域まちづくり対策特別委員会  
議会改革調査会

- 14日 本会議  
議員全員協議会  
生活環境委員協議会
- 20日 広報広聴特別委員会
- 21日 議会改革調査会
- 26日 沖縄県の基地負担軽減を考える議員有志の会 官邸訪問
- 27日 広報広聴特別委員会
- 1月 11日 広報広聴特別委員会
- 12日 小方地域まちづくり対策特別委員会  
生活環境委員政策研究会  
議会改革調査会
- 16日 西部ブロック市議会議員研修会
- 18日 基地周辺対策特別委員会
- 23日～24日 石油基地防災対策都市議会協議会  
第116回役員会（静岡市）

【視察来訪】

- 1月 25日 埼玉県鴻巣市議会  
「地域公共交通について」

## 陳情・請願・意見書

陳情書名 陳情提出者	要 旨	●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】	【本会議の結果】
<b>小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情</b>  小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか2団体	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが利用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	●小方地域まちづくり対策特別委員会  ○「旧小方小・中学校跡地の利活用の動向（現在発注の小方地区まちづくり基本構想）を踏まえて審査する必要がある」  【継続審査】	【継続審査】
<b>港町ポンプ場の移転までにおける対応についての陳情</b>  港町一丁目自治会 会長 小幡 哲雄	今秋オープン of 株式会社コメリの開店後について、車の渋滞が予想される。については、当自治会の案であるが、港町ポンプ場が移転すると渋滞は大分緩和されると思う。平成24年開催の地区懇談会の時に移転は岩国大竹道路の工事と合わせてになるとの土木課の回答であったが、大林組の敷地側道路を広くして、車の通り抜けを検討するとの話もあった。現在、大林組はここを使っていないので、応急的に検討して頂きたい。	●生活環境委員会  ○「大型商業施設開店後の交通状況を踏まえて審査する必要があるため」  【継続審査】	【継続審査】
<b>晴海臨海公園整備事業における多目的ゾーン等を整備することを求める陳情</b>  大竹市立戸一丁目6番1号 大竹市総合型地域スポーツクラブ 会長 冷泉 洋治	体力・健康づくりへの関心の高まりを背景にスポーツに親しむ市民が増えてきている中、晴海臨海公園整備事業の第1期工事により、スポーツゾーン及びシーサイドゾーンの一部が完成し、テニスや野球等が盛んに行われています。 子どもから高齢者まで、スポーツや健康づくりを通じて、豊かで活力のある生活を実現するための環境づくりとして、引き続き多目的ゾーン等についても着工していただき、整備して下さるよう、よろしくお願いたします。	●生活環境委員会  ○「早期に整備をしてほしいとの市民の思いが今回の陳情へとつながったと思う。多額の費用を要するが、市民にとっては夢であり陳情の趣旨は十分理解できる。」 ○「整備には多額の費用を要することになり、本市の財政状況を考慮すると他にも取り組むべき日常生活に関する課題などがあるものと考え。」  【採択】	【採択】

### 本会議での討論 —晴海臨海公園事業における多目的ゾーン等を整備することを求める陳情—

【反対】「陳情の趣旨はよくわかるが、耐震性のない公共施設の整備や新町ポンプ場の完成など市民の安心安全のための事業をしてほしい。莫大な費用を要する早期の公園整備陳情には反対せざるを得ない」

【賛成】「多くの市民が早期の整備を待ち望んでいる。また、公園の整備は、未来を見据えた子どものため、高齢者の健康増進にも寄与すると思われるため賛成」

### 政務活動費の公開について

平成27年度分（9月～3月の議員分）政務活動費収支報告書を市ホームページで公開しています。

【大竹市HP→市議会のページ→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要となりますのでご了承ください。

詳しくは、大竹市議会事務局までお問い合わせください。

# 先進地事例調査研究

## 生活環境委員会

委員長 細川 雅子

平成28年11月15日・17日

宮城県仙台市 11月15日

### 【下水道アセットマネジメント】

仙台市の公共下水道普及率は現在99%以上。施設の老朽化、予算の縮減、職員減少など業務上の問題を包括的に解決する必要があり、平成25年度からアセットマネジメントを本格的に導入している。6百回を超える会議を開催し、業務プロセスの改善、リスク評価基準や投資判断基準等を整備した。導入後は、

- ①目標を定めて成果指標を計測する。
- ②リスク評価に耐えうる予算策定。
- ③仕事は業務プロセスに従ってやる。等の変化がみられとのこと。

本市も公共下水道事業の持続可能性に向け、マネジメントの質の向上を図ろうとしている段階である。将来像を学ぶ上で有効な視察となった。

解説

「アセットマネジメント」とは、施設管理に必要な費用、人員を投入し良好なサービスを継続的に供給していくための事業運営を行うこと。

## 栃木県塩谷郡高根沢町

11月17日

### 【新しい総合事業と

### 「花の丘」での取り組み】

国の介護保険制度の改正に伴う新しい総合事業を、高根沢町は平成28度から先行して実施している。その担い手の一つである、「NPO法人たすけあいエプロン」を訪れた。

ここは介護保険制度開始以前に、「困ったときはお互い様」の精神で、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティを創ることを目指し設立された。現在は介護保険事業をはじめ、子育て支援なども行っている。平成26年オープンのコミュニティカフェ「花の丘」は、誰でも来られる常設型の「居場所」として、現場のニーズからスタートした事業である。地域包括ケアシステムの地域づくりを進める本市にとつて、支える人も支えられる人も共に生き生きと過ごす「花の丘」の事業は大変参考になった。



## 小方地域まちづくり 対策特別委員会

委員長 細川 雅子

平成28年11月16日

### 岩手県紫波郡紫波

### 【オガールプロジェクト】

市は平成28年度から小方新駅を中心とした小方まちづくり構想策定事業を進めている。当特別委員会では、構想策定のポイントや手法を学ぶため、駅周辺の開発を行っている岩手県紫波町のまちづくりを視察した。

紫波町は東洋大学大学院経済学研究科と協定をむすび、公共用地として町が取得してから10年以上放置されていたJR紫波中央駅前にある町有地10.7ヘクタールについて「紫波町PPP(※)可能性調査」を行い、公民連携の手法でまちづくりを進めることを決定した。

行政内部の公民連携室と民間の特定目的会社であるオガールプラザ株式会社公民連携の推進力となった。

公民連携基本計画(議会議決有)を策定する際には、町民の理解を得るために対話を繰り返し、更に住民とワークショップを重ねることでオ



紫波マルシェ

ガールプロジェクトに魂を入れる作業をした。オガールプロジェクトの斬新さは、ありきたりの公共事業から脱却し、公共インフラに「稼ぐ機能」を付加して公共サービスの持続可能性とサービスの充実を図ったことにある。

小方新駅を含めて、小方小中学校の跡地の活用と周辺の魅力づくりは本市のけん引力となると期待されている。地区のにぎわいづくりと、若者、子育て世代が住みたいと感じるまちづくりに向けて、特別委員会の役割の重さを再認識した視察となった。

(※)公民が連携して公共サービスの提供を行う仕組み

# 総務文教委員会

委員長 山崎 年一

平成28年11月7日～9日

岐阜県多治見市 11月7日

## 【多治見市第7次総合計画について】

総合計画策定に向けた多治見市議会の取り組みは、全議員を委員とする総合計画策定特別委員会を設置し、議会としての合意形成を委員会として決定すると決し、以後7カ月間にわたって継続的に審議・議論を重ね、市長に対して追加修正案8事業を要望書という形で提案されています。

8事業のうち7事業は議会の要望に沿った形で計画に修正・追加されたので、「議会が総意として決定した要望を行政サイドが重く受け止めたものでした。」



多治見市

かわりが示されていきました。執行部から提案された174事業を3つの分科会で「議員間討議」にかけて審査するなどの取り組みも成されています。「議員一人一提案」や「議員間討議」「議会の合意形成による事業要望」など、学ばべき事例が多くあり、第6次総合計画策定に向けた本市議会の取り組みとしたいものです。

長野県茅野市 11月8日

## 「茅野市リーダーズクラブ」

中・高校生を中心に「子どもの手による子ども会」を目指し、自分たちで事業の立案・検討・実施・リーダー研修活動などを行っています。

子どもたちの積極的に行動する力、仲間と協力して成功を目指す力、仲間や世代間の人とのコミュニケーションの場などが経験できるように活動の場を広げ、すべての事業を子供たちだけで作り上げる力を養うことに注力していました。他の模範となる実績を長年残してきたことが評価され、国や県からの各種団体表彰など多数の栄誉は参加者や関係者などに多くの励ましとなり好循環になっているようです。

本市では、生涯学習課の取組で

あるジュニアリーダー研修会と中高生主体の市民グループの活動に行政がより関連性と連続性を深めております。行政と大人の関り支援で大きく飛躍するのが子どもたちです。

愛知県武豊町 11月9日

## 「NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ」

この「クラブ」は「小さく生んで大きく育てる」を理念に幼児から小学生を中心に高齢者までを対象として会費や助成金で独立した組織として活動しています。会費も比較的安全で希望者が多くどの教室も満杯補助金の獲得に奔走する状況で、財政的な支援が求められていました。

本市の「総合型地域スポーツクラブ」とは財政面・組織面において大きな開きがあると感じ、本市においても独立した組織として活動できる体制が必要と感じました。

また、将来的には高齢者の健康増進・医療費抑制の観点から高齢者のクラブ編成にも積極的に取り組み、地域包括ケアシステムに向けて貢献したいとお話も伺いました。本市においてもこのような団体の育成・支援が必要であり、議会としても見守っていききたい。

## 議会を傍聴しませんか

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。



### 3月議会日程(予定)

本会議	3月2日(木)
常任委員会	3月2日(木)
特別委員会	3月3日(金)
本会議	3月6日(月)
(予備日)	3月8日(水)
予算特別委員会	3月9日(木)
委員会	3月13日(月)
本会議	3月16日(木)
	3月24日(金)

第15回のインタビューは、ダンスサークル**ABEATクラブ**の代表 河野ちさ子さんと 会計新本 芳江さんです。



河野さん



新本さん

第15回 スマイル インタビュー



ABEAT(アビート)クラブについて教えてください

創立14年目のクラブで、市の生涯学習グループです。人数は約80名で、大竹市内外の3歳から高校生までの子ども達がいいます。クラシックバレエとジャズダンス合わせて10クラスあり、3人の先生が各々のクラスを教えています。

幅広い年齢層ですね。

中・高校生は10年近く通っていますが、今は部活後に来ている子が大半です。嬉しいことに、卒業生はコンサートのお手伝いに来てくれるのでとても助かっています。

ダンスを披露する場合は？

2年に1回コンサートを開くほか、公民館まつり、こいこいフェスティバルなどのイベントに年間10回程度、それぞれのクラスが出演しています。福祉施設の慰問は、ダンスのほか、一緒に歌ったりと、入居者の方々と触れ合いを大切にしているので、とても喜ばれます。



高橋さいこ先生とレッスン(^^)



クラブをまとめ、運営していると思われることは？

財政的には少々きついのですが、市の生涯学習グループなので、たくさん子ども達が楽しめるクラブを保護者と共に支えていきたいと思っております。



ダンス 楽しい!

ダンス 大好き☆

元気いっぱいな「エレメンタリー1」クラス

あとがき

一昨年の9月に広報広聴特別委員会委員になって2回目の正月を迎えました。一生懸命に議会活動を市民の皆さまにお伝えすることに専念して参りました。「笑顔・元気がややく大竹」をテーマに議会活動をお知らせすること、市民の皆さまに議会活動を理解していただくこと、更には市民の皆さまに議会や各委員会を傍聴していただくことが、各議員が議会活動を通じて平素から議会並びに各委員会で議員自身の取り組んでいる政策の内容等が判ると思えました。

また、各委員会もどのように議論して、委員会採決等が成されているかがご理解されるものと思います。

私たち広報広聴特別委員は、市民の皆さまに、議会活動がわかりやすくよりご理解いただけるように日々研鑽して広報作りに取り組んでいます。

楽しい、住みよいまちづくりを目指して内容等の改善を計りますので、ご意見ご感想をお寄せ下さい。

広報広聴特別委員

委員長  
副委員長

- 山崎年一
- 和田芳弘
- 和広和基
- 末広幸治
- 賀屋幸久
- 北地一久
- 西村一啓
- 日域一究

発行・平成29年2月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方二丁目11-1 Tel 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。